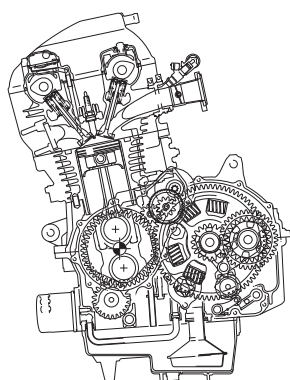


エンジンはPGM-FIのセッティングを変更することで低回転領域の力強いトルクと走り味を両立。また、ミッションは力強いトルク特性の獲得に伴い6速ミッションへと変更しました。

リッターオーバーの空冷直列4気筒エンジンがライダーと会話するかの如く、その「うなり」を強調するのがエンジン回転数で2800から3200の間です。今まではその独特の唸りを感じる、サウンドやバイブレーションは80km/hまででした。今回は高速道路での移動で多くの時間を共にする100km/hで「うなり」と心地よさを感じていただける仕様としました。

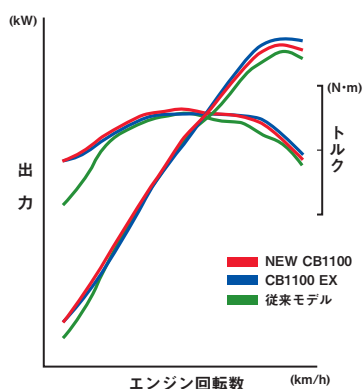
ミッションは、これまでの5速から6速へと変更しました。同サイズのクランクケースへの搭載は従来の技術では困難と考えられていましたが、ベアリングの全幅を効率よく短縮するなど、内部スペースの見直しを行うことでトランスミッションスペースを拡大。6速ミッションを同サイズのクランクケースへ格納可能にしました。

### ■エンジン構造断面図

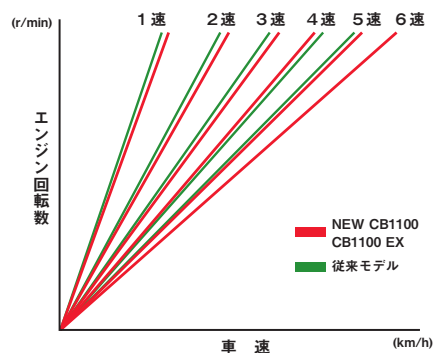


NEW CB1100 / CB1100 EX

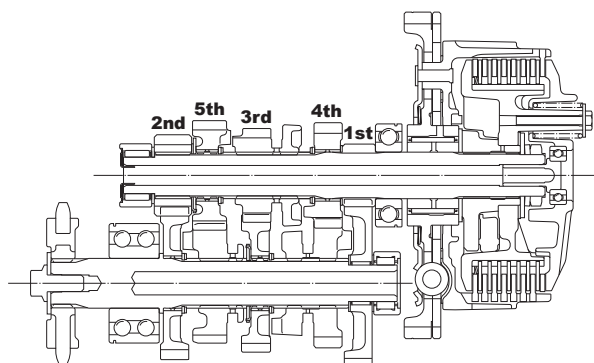
### ■出力特性比較イメージ



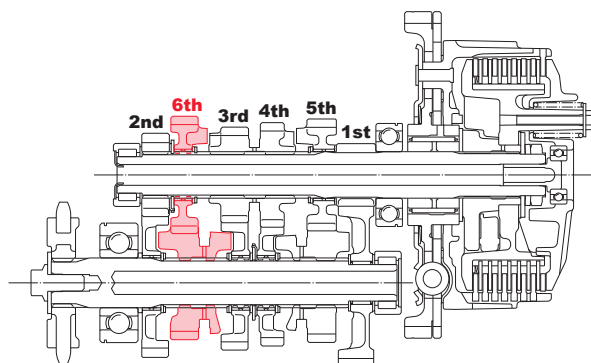
### ■車速線図比較イメージ



### ■トランスミッション構造断面図



従来モデル



NEW CB1100 / CB1100 EX